学校番号	４１１

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	新詳地理Ｂ（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	新詳地理資料 COMPLETE2019（帝国書院）、2020 データブック・ザ・ワールド、新地理の研究（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「地理」とは、地域の様々な現象を認識し、その原因について探求していく学問です。まずは、地域の様々なことに興味を持ち、その“違い”や“同じこと”を知ってください。
・教科書・資料集などあるいはインターネットなどで地理的事象に関する資料を集め、比較検討する能力を身に付けてください。
・世界地誌の学習を通じて身に付けた知識で、世界や日本の課題を考察してください。

2　学習の到達目標

現代世界の地理的事象を系統地理的に、世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。地図や統計など様々な資料を整理し、活用する能力を身に付ける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き、日本国民として責務を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし、それを系統的・地誌的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	現代世界の地理的事象について、基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	作業プリント	定期考査 作業プリント	定期考査 作業プリント	定期考査 作業プリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察	産業の発達と変化 農業の発達と分布 世界の農業地域区分 現代世界の農業の現状と課題 世界の林業･水産業 日本の農林水産業 世界の食料問題 日本の食料問題	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 世界の農林水産業、食料問題について，関心と課題意識を高め，農業の成立条件などを踏まえてそれらを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b: 現代世界や日本の農林水産業や食料問題の現状と課題を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c: 現代世界や日本の農林水産業の生産や分布および特徴や食料問題に関する統計などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，農林水産業の現状や食料問題の課題について読み取ることができる。 d: 世界の農林水産業や食料問題について，自然条件や社会条件の違いと関連付けて農業の地域区分や各農業の特徴を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント
	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察	世界のエネルギー・鉱産資源 資源・エネルギー問題 世界の工業 第３次産業 世界を結ぶ交通・通信 現代世界の貿易と経済圏	○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 世界の資源・エネルギーや工業について，その現状と課題などに関する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b: 世界の資源・エネルギーや工業について、多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c: 世界の資源・エネルギーや工業に関する統計などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，国や種類ごとの特徴や課題について読み取ることができる。 d: 世界の資源・エネルギーや工業について，その特徴と課題を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント

2学期	第Ⅲ部　現代世界の地誌的考察	地域区分とは何か 世界地誌 ・東アジア ・東南アジア ・南アジア ・西アジアと中央雨アジア ・アフリカ ・ヨーロッパ			 ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: アジア・アフリカ・ヨーロッパについて，自然・歴史・文化・産業などにみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b: アジア・アフリカ・ヨーロッパについて，地域的特色や地球的課題を，項目ごとに整理して静態的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c: アジア・アフリカ・ヨーロッパについて，自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとに，世界の国々の特徴や近年の動向について読み取ることができる。 d: アジア・アフリカ・ヨーロッパの自然の特徴，歴史的背景をふまえた地域の変容，経済発展などの地域的特色や地球的課題を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント

2学期	第Ⅲ部　現代世界の地誌的考察	世界地誌 ・ロシア ・アングロアメリカ ・ラテンアメリカ ・オセアニア			 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a: ロシア・アングロアメリカ・ラテンアメリカ・オセアニアについて，自然・歴史・文化・産業などにみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b: ロシア・アングロアメリカ・ラテンアメリカ・オセアニアについて，地域的特色や地球的課題を，項目ごとに整理して静態的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c: ロシア・アングロアメリカ・ラテンアメリカ・オセアニアについて，自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとに，世界の国々の特徴や近年の動向について読み取ることができる。 d: ロシア・アングロアメリカ・ラテンアメリカ・オセアニアの自然の特徴，歴史的背景をふまえた地域の変容，経済発展などの地域的特色や地球的課題を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント

3学期	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察	世界地誌 ・日本 入試問題			○	○ ○	a: 日本が抱える地理的な諸課題について，関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b: 日本が抱える地理的な諸課題について，これまでの歴史的経緯などをふまえ，その解決の方向性や将来像などを多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c: 現代世界の日本に関する統計などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとに日本が抱える地理的な諸課題の原因や今後の展望などが読み取ることができる。 d: さまざまな規模の地理的な諸課題を抱える日本の現状と今後重要となる取り組みを理解し，その知識を身につけている。	小テスト 作業プリント

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。